

中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) 令和4年度実施状況及び令和5年度実施について

令和5年4月13日
教 育 庁

1 実施概要

(1) 日 程

ア 実施日：令和4年11月27日(日)
イ 予備日：令和4年12月18日(日)

(2) 会 場

ア 実施日：都立学校 150 会場 民間施設 47 会場
イ 予備日：都立学校 12 会場 都有施設 1 会場

(3) 受験者人数

ア 実施日：69,529 人
イ 予備日：1,668 人 (受験者の合計 71,197 人)



2 令和4年度 出題・結果の概要

(1) 出題形式と評価の観点

ア 出題のねらいと形式

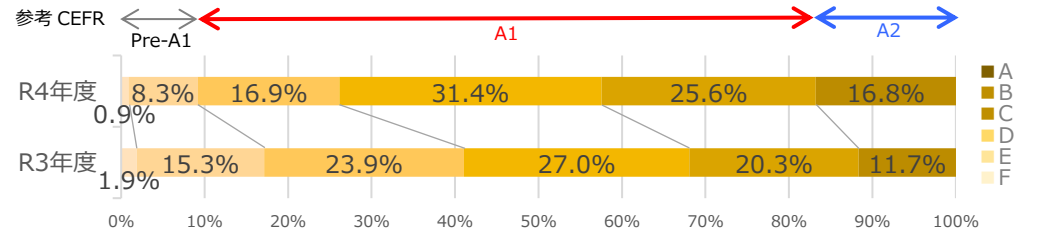
Part	出題のねらい	出題形式	出題数	評価の観点		
				コミュニケーションの達成度	言語使用	音声
A	英文を読み上げる形式の問題で英語音声の特徴を踏まえ音読ができる力を見る。	英文を読み上げる	2			○
B	図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に回答する力や、図示された情報をもとに「質問する」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」など、やり取りする力を見る。	質問を聞いて回答する・意図を伝える	4	○		
C	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を見る。	ストーリーを英語で話す	1	○	○	○
D	身近なテーマに関して聞いたことについて、自分の意見とその意見を支える理由を伝える力を見る。	自分の意見を述べる	1	○	○	○

イ 評価の観点

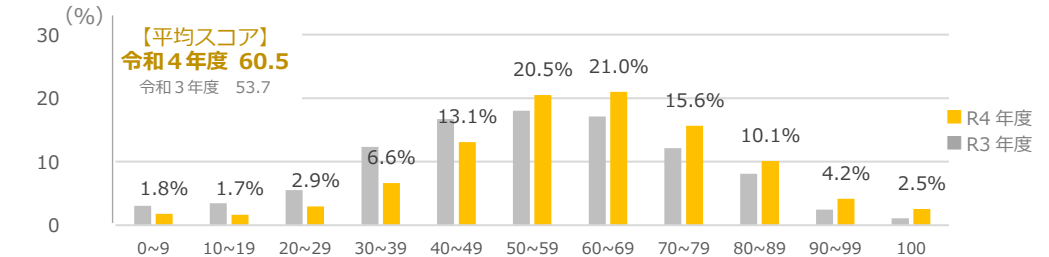
- (ア) コミュニケーションの達成度 [2段階(0~1)] コミュニケーションの目的の成立
- (イ) 言語使用 [5段階(0~4)] 語彙や表現の使い方や幅広さ、内容の一貫性、論理構成
- (ウ) 音声 [4段階(0~3)] 発音、イントネーション など

(2) 結果概要

ア ESAT-J GRADE 度数分布



イ 平均スコア及びスコア度数分布



分析

ア コミュニケーションの達成度

- 自分のしたいことや既に行ったことについて、必要な情報を伝えることができる。
- 自分の意見を、そう考えた理由を具体的な事例を用いるなどして、分かりやすく伝えることができる。
- イラストに描かれた内容を、既習の語彙や表現を活用して伝えることが十分ではない。

イ 言語使用

- 簡単な接続詞を用いて、文を組み立てながら話すことは概ねできている。
- 語彙、表現や文法を幅広く活用した伝え方が十分ではない。

ウ 音声

- Part A では9割以上、Part C では8割以上、Part D では8割程度の生徒が、聞き手が理解できる音声で話すことができている。
- 抑揚をつけた話し方や伝え方が十分ではない。

(3) 評価の各観点の達成度 (11月27日実施分)

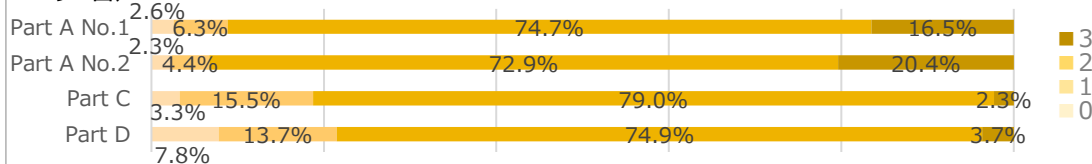
ア コミュニケーションの達成度

Part B				Part C				Part D	
No.1	No.2	No.3	No.4	1ㄗ	2ㄗ	3ㄗ	4ㄗ	意見	理由
48.0%	44.8%	82.3%	52.0%	85.4%	46.1%	52.8%	46.3%	62.3%	59.3%

イ 言語使用



ウ 音声



3 令和4年度の実施状況を踏まえた令和5年度の実施の方向性

(1) 実施状況

- 生徒の「話すこと」の能力を適切に測ることができた。
- 定められた期間中に、受験申込や特別措置などの申請が完了していない生徒がみられた。また、誤った会場に行った生徒や、指定された会場までの交通手段の確保が難しいケースがあった。
- 「他の生徒の声が聞こえた」という報道が一部にあった。
- 機器の不具合に起因する録音不良により、評価の修正を行った。



(2) 令和5年度の実施の方向性

- **一層取り組みやすい問題が出題できるよう、更なる良問を作成する。**
- **生徒、保護者や教員が見通しをもって準備できるよう、受験申込方法や受験会場等について見直しを行うとともに、周知の時期や方法を改善する。**
- **解答に影響を与える事例の報告はなかったが、生徒が、より集中できる受験環境を整備する。**
- **採点方法や点検方法について、常に検証を行い、維持・向上に努める。**

4 令和5年度の実施について

(1) 実施日 令和5年11月26日(日) 予備日：令和5年12月17日(日)

(2) 会場 都立学校、大学、民間施設、都有施設等

※ 実施の概要について、4月中旬に、中学校を通じて生徒及び保護者に案内

※ 実施に関する詳細な事項は、5月に公表する「実施要項」に記載